

ロータリー財団について

～2023.24年度 地区研修・協議会・分科会～

2023年4月16日(日)

ロータリー財団委員長 小野寺 則雄

国際ロータリー世界本部

米国イリノイ州
エバンストン
「ワン・ロータリー・センター」



～ロータリ財団～

- 1905年、2月23日国際ロータリーが、ポール・ハリスによって創立され、ロータリ財団は遅れること12年後の1917年にアメリカ、アトランタの国際大会においてアーチ・Cフランク会長の提案によって【国際ロータリーは、世界で良いことをしよう】をテーマに基金を設立。カンサツシティロータリーより、26ドル50セントの寄付が始まりで、今日では大きな財団に成長してきました。

ロータリー財団の使命

ロータリー財団は、ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援する。

(ロータリー財団章典 10.020)

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが**手を取りあって行動する**世界を目指します。

(ロータリー章典 26.010.5)



テーマ選定のきっかけ

<ある女性との出会い>

- 30年以上持ち続けた貴重な貝殻を贈呈された。なぜか？
- タイ、バーン・タリングチャン村に在住の女性。
- 2004年 タイの津波
- 夫、娘、息子の家族
家、生計

・人生への失望 : 生き続ける理由の喪失



ロータリーが地域社会の建て直しの奉仕活動

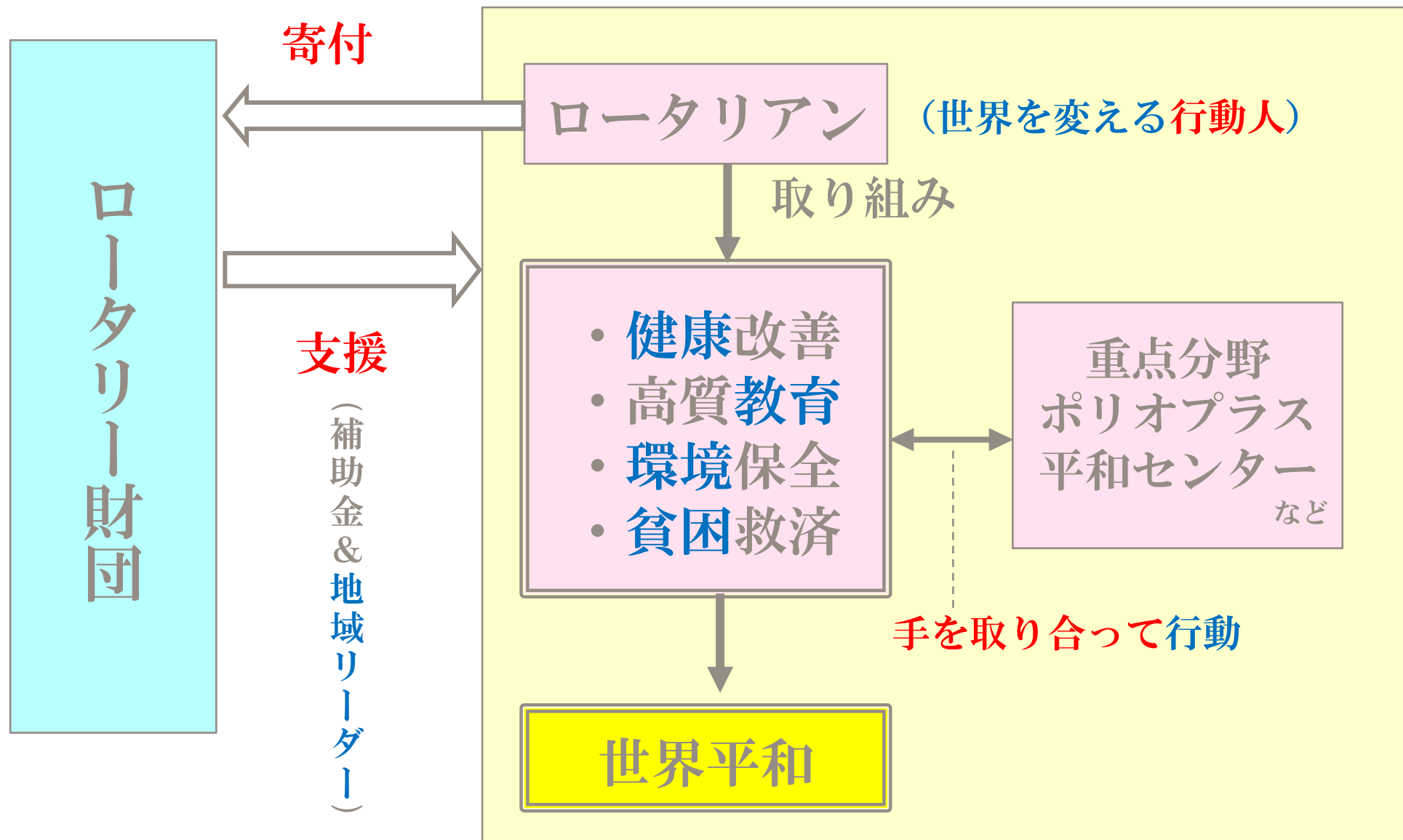


女性が前向きな気持ちを取り戻す。
生きる希望が与えられた。

奉仕活動
↓
・生きる希望

世界に希望を生み出そう

<ロータリー財団の使命>





<ポリオへの見解>

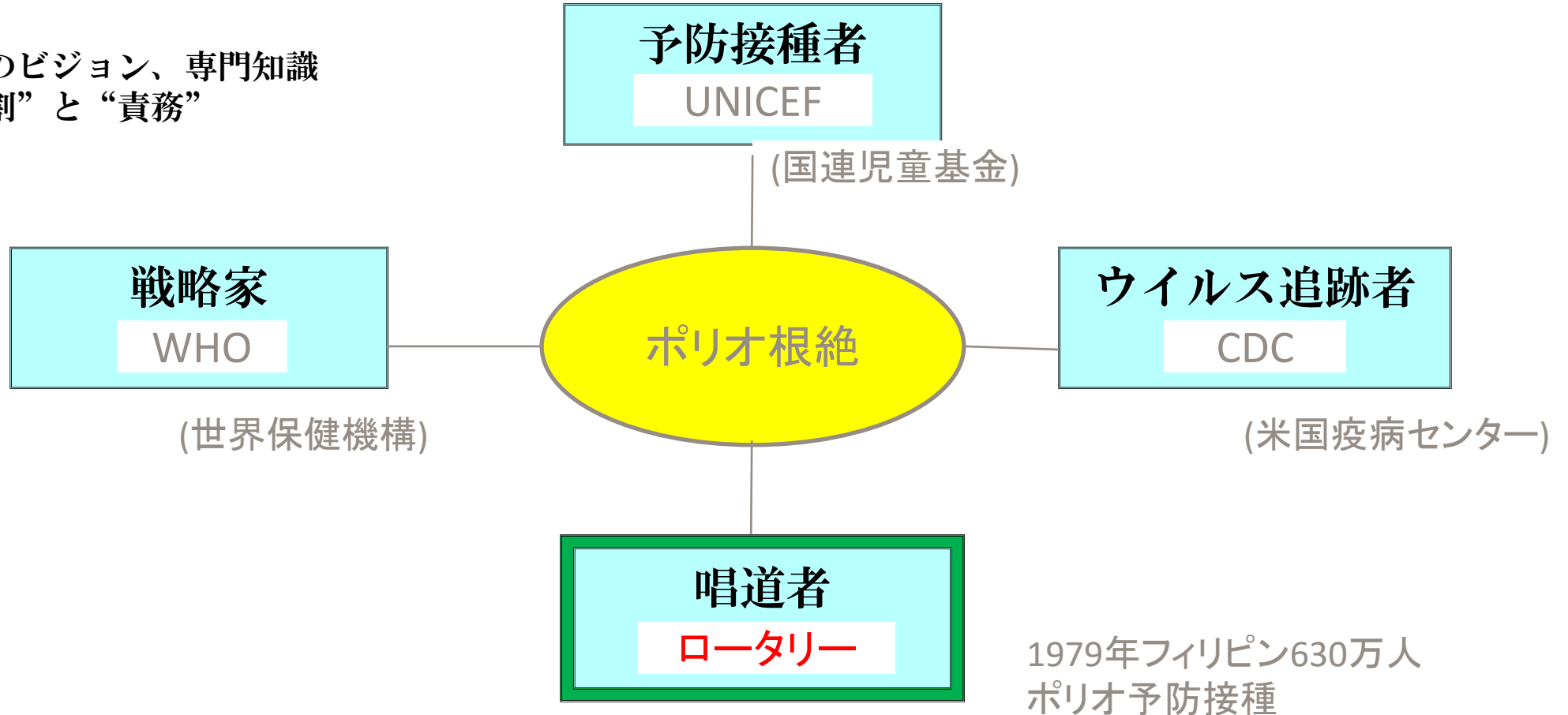
- ポリオの根絶が依然としてロータリーの**最優先事項**です。
- 「**ポリオのない世界**」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの**35年間**を、私たちは**誇り**とすることができます。



世界ポリオ根絶のパートナー

(“Rotary” 誌より)

- 共通のビジョン、専門知識
- “役割” と “責務”



※**唱道者**とは：
ある思想や主張を人に先立って唱える者

地区補助金とグローバル補助金

【地区補助金】

- ・ 短期プロジェクト
- ・ 制約事項が少なく地域のニーズに応えやすい



©Rotary International

【グローバル補助金】

- ・ 長期プロジェクト
- ・ 持続可能性、重点分野
- ・ 予算の最低金額3万ドル



©Rotary International

ウクライナ緊急支援活動

ウクライナ支援について

- ・ロータリー災害救援基金で支援の受付

寄付総額

- ・世界：1,500万ドル（15 MILLION）以上
- ・日本： **334万ドル**（世界の23%）…**約4億5,000万円**
（135円/ドル）

《ウクライナ》

	<u>地区</u>	<u>クラブ数</u>	<u>会員数</u>	
・ロータリークラブ	2232	62	1,100	} 1,400名以上の会員
・ローターアクトクラブ	2232	24	300以上	

《第2520地区》

- ・DDFから1万ドル寄付

MOSHCHUN – Recovery project

ムシユン村復旧プロジェクト

22nd June 2022



Project Mission

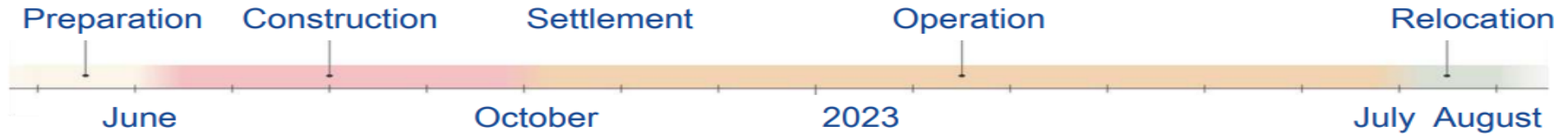


- Rebuilding of the destroyed village of Moshchun with the participation of Rotary clubs of the world in partnership with Ukrainian state.
- MOSHCHUN - will be a symbol of happy, independent, modern Ukraine

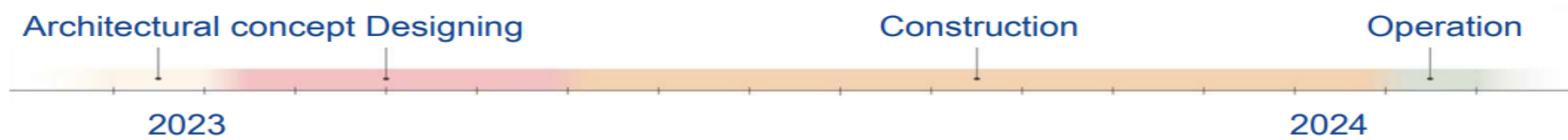


Rebuilding in two steps

First step - to give people a temporary shelter prior to cold season



Second step - complete reconstruction of the destroyed Moshchun



Realization of Step One already started!

- First modular house produced.
- Rotary action took place to prepare the location.
- First modular house delivered and installed in Moshchun.
- **Your donations will help us to move forward! Thank you!**



仮設住宅①



仮設住宅②





People fleeing in Dorohusk. Photo: Ryszard Karczmarski

ウクライナよりの避難民



Mothers & children in Gdynia. Photo: Barbara Pawlisz

避難した母親と子ども達



ロータリアンによるサンドイッチの提供



教会内の
シェルター

A night shelter in a church. Serving sandwiches. Photo: Ryszard Karczmariski.

寄付の種類

寄付分類名		概要
年次基金 (年次寄付)	シェア	寄付の47.5%ずつが、3年後にDDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)、5%が運営費となります。地区の活動やロータリー財団の活動に活用されます。
	WF (国際財団活動資金)	寄付を全額WFに指定できます。WFは、グローバル補助金に対する上乗せやその他財団プログラムの資金等に活用されます。
	重点分野	7つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができます。
ロータリー災害救援基金		災害救援活動や復興活動に生かされます。この基金へのご寄付は、特定の災害に指定することはできず、ロータリー災害救援補助金を通じて活用されます。年次基金が対象となる各種認証や寄付データに算入されます。
ポリオプラス		ポリオ根絶運動を支援します。(例：ワクチン投与、報告・モニタリング、症例分析、輸送手段、ヘルスキャンプの設置、広報活動など)

寄付の種類

寄付分類名		概要
恒久基金	シェア	元金はそのままに、収益の50%がDDFに、残りの50%がWFになります。使用可能な収益が通知されるのは10月頃です。
	WF (国際財団活動資金)	収益の全額がWFになります。WFは、グローバル補助金に対する上乘せやその他財団プログラムの資金等に活用されます。
	ロータリー 平和センター	ロータリー平和フェロシップやセンターの維持費などプログラム全体に係る費用を支援します。
	重点分野	7つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができ、使用可能な収益がプロジェクトに活用されます。
	冠名基金	冠名基金を保有している方はご自身の基金に寄付を追加することができます。

